

金沢工業大学自己点検評価に向けて

平成14年度

# 企業・教員・卒業生・在学生 アンケート調査結果 [報告書(抜粋)]

この頁は、平成14年9月11日に発行されたサマリー報告書より、特徴的な部分をピックアップしたものです。

編集：金沢工業大学教育点検評価委員会

## 企業・教員・卒業生・在学生アンケート調査結果について

学長 石川 憲一

周知のように、'70年を境目として我が国に於ける大学を始めとする高等教育は大きく変化し、最近に至ると修学年齢世代の約50%が大学・短大へと進学する所謂大衆化現象が生じてきております。このような状況は一面においては、資源小国である我が国にとって人材と言う「財」を育成し国民の知的水準を向上することに関しては望ましいことではありますが、一方では卒業生の質的保証や当該大学に対する満足度に関しては、従来不明な点が多いのが現状であります。

また、工・理・農学系を中心に自らの教育内容を継続的に向上させると共に、世界的にも通用する技術者の育成を目指した「日本技術者教育認定機構：JABEE」が、'99年11月に当時の文部、通産、科技庁並びに経団連の強力な支援を受けて発足致しました。このことは、我が国の技術者教育を客観的な視点を以て評価・認定し、グローバル化に対応する一種の「教育的開国」を成し遂げようとするものと考えられます。

このような変革の時代にあって、金沢工業大学は開学以来37年の歴史を着実に刻んできておりますが、取り分け'95年度を以て開始致しました教育改革の成果を確認するために、'96年に引き続いてこの度本学の卒業生や修了生に活躍の場を与えて戴いている企業人事担当者を始め、卒業生・修了生、教員並びに在学生等に対して8種類のアンケートを依頼致しました。通常、この種のアンケートは自己点検・自己評価の一環として行われる訳ですが、本学では第三者である(株)キャリア アンカーにアンケートの設計から調査結果の評価並びに分析に至るまですべてを依頼致しましたので、より客観性のある報告書になり得たものと考えております。

尚、このようなアンケートは今回得られた成果を踏まえて改善すると共に、これからも継続して実施し、本学の工学教育・技術者教育へ反映しながら卒業生・修了生の質的保証や在学生の満足度を更に向上させたく思っておりますので、忌憚のないご意見をお寄せ戴ければ幸いです。

最後になりましたが、本アンケートにご協力戴きました関係各位に対しまして、衷心より感謝申し上げる次第であります。

## < 1 > 調査時期・目的・対象

本調査は、平成14年3月に企業採用担当者、教員、卒業・修了生、卒業・修了直前者を対象にした調査を、4月に在學生を対象にした調査をそれぞれ実施した。従って、在學生については当該クラスのスタート直後の回答を集めたものである。

本調査は下記の点を目的として実施した。

- 金沢工業大学（以下、KIT）を取り囲む多くの関係者が、KITをどのように見ているか？各々の見方にはどのような違いがあるのか？といった基礎的な情報を把握し、今後の大学運営に役立てることを主目的とする。
- なお、関係者とは、下の一覧表にあるとおり、「企業の採用担当者」「教員」「卒業・修了生」「卒業修了直前者」「在學生（1年生～4年生）」とする。また、平成8年の調査結果も参考とした。
- 各々の調査に関しては下の一覧表のような概略、対象にて実施した。
- 平成8年の調査に関しては、調査報告書からデータをピックアップして利用した。

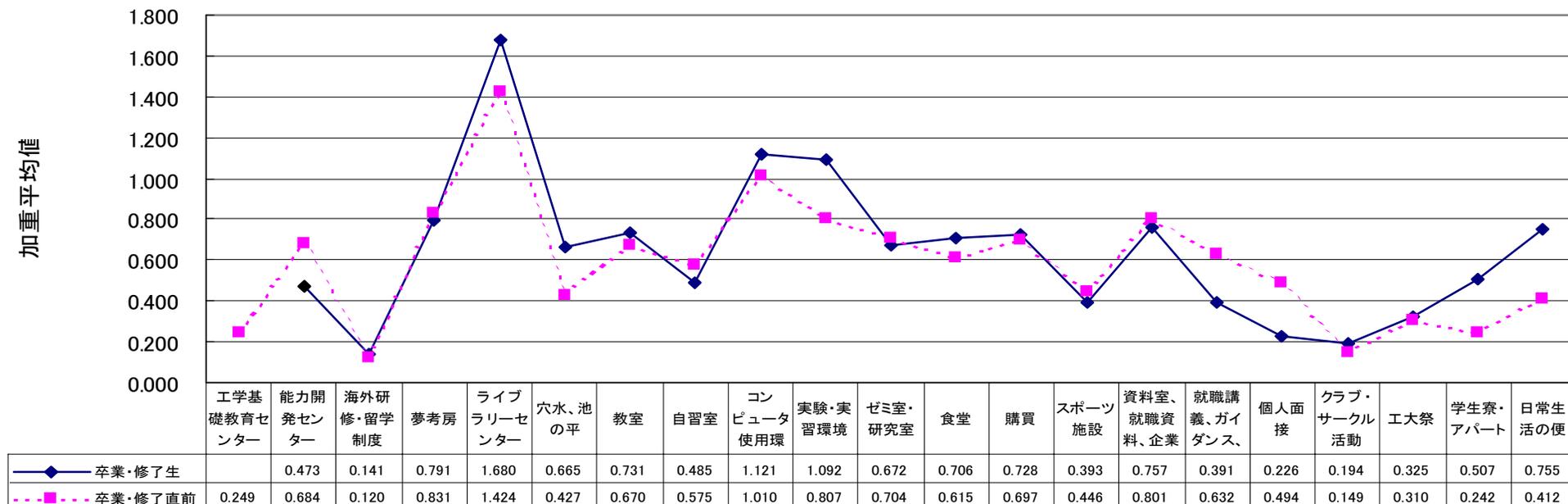
調査名	概 略	対象、数量
企業採用担当者調査	企業の採用担当者、KITの教員、卒業・修了生（卒業修了直前者を含む）に対して、共通項目を設定したアンケートを実施し、各々の考え方の違いを把握する調査	対象：過去3年間にKIT卒業生が入社した企業 配布：約2,401社 回収：約529社（回収率22.0%）
教員調査		対象：KIT専任教員 配布：261名 回収：116名（回収率44.4%）
卒業・修了生調査	内容は下記の3つの切り口 新入社員に求める基礎能力 入社時に必要な能力 入社後の専門分野で必要な能力	対象：過去3年間に学部を卒業或いは大学院を修了し就職した者 配布：5,511名 回収：412名（回収率7.5%）
卒業修了直前者調査		対象：平成14年3月卒業・修了予定者 配布：2,014名 回収：約1,414名（回収率70.2%）
在學生調査	1年生には「入学前までのKIT評価」、2～4年生に対しては「KITの教育、設備面などの評価」を聞く また、4年生に関しては一部、卒業・修了生などと共通の項目を設定する	対象：Sクラス、Cクラス、Jクラス、Fクラス Sクラス：2,029名配布、288名回収（回収率14.2%） Cクラス：1,700名配布、180名回収（回収率10.6%） Jクラス：1,797名配布、148名回収（回収率8.2%） Fクラス：1,769名配布、631名回収（回収率35.7%）
平成8年調査	卒業生調査（1996年12月2日 調査票配布）	昭和61年、平成元年、平成4年、平成7年にKITを卒業、修了した5,353名に調査票を配布し、759名から回収（14.2%）
	企業担当者調査（1996年12月2日 調査票配布）	卒業生が4名以上在籍する企業の人事部長宛に調査票を発送。1,121社に配布し、565社から回収（回収率50.4%）

## < 2 > 卒業・修了生の学習支援、施設・設備などの評価

卒業・修了生（直前も含む）から最も評価が高いのは「ライブラリーセンター」であり、他の項目と比較しても突出していた。また、「コンピュータ使用環境」など、施設・設備系の評価は軒並み高かった。

- 学習支援や施設・設備の評価、就職支援の評価などを、「卒業・修了生」と「卒業修了直前者」に聞いたところ、下記のグラフのような加重平均グラフとなった。
- 両者ともに「ライブラリーセンター」の評価が突出しており、非常に高く評価されていることが確認できた。
- 次に評価が高かったのは、施設・設備面の「コンピュータ使用環境」「実験・実習環境」などであり、「ライブラリーセンター」と合わせると、施設・設備面の評価が高く、それらがK I Tの特徴にもなっているものと思われる。
- 逆に評価が低かったのは「海外研修・留学制度」「クラブ・サークル活動」といった課外活動であった。

学習支援、施設・設備、その他の卒業前後比較（加重平均）



高く評価できる（+2）、まあ評価できる（+1）、あまり評価できない（-1）、評価できない（-2）として加重平均を集計した。

### < 3 > 在学生の学習支援、施設・設備などの評価

#### ■授業、施設、設備、課外評価の全データ

	項目	Sクラス	Cクラス	Jクラス	横の平均	分野平均		
学習支援	学習支援計画書(シラバス)の内容	0.354	0.750	0.649	0.584	0.529		
	コアガイドブックの内容	0.819	1.067	0.851	0.912			
	キャンパスノートの内容	0.726	1.050	0.932	0.903			
	QPAポイント制度	0.108	0.344	0.264	0.239			
	修学アドバイザー制度	0.479	0.694	0.723	0.632			
	オフィスアワー制度	0.552	0.783	0.919	0.751			
	自己点検授業	-0.688	-0.311	-0.264	-0.421			
	春、秋、冬学期の3学期制	-0.517	-0.350	-0.257	-0.375			
	工学基礎教育センター6号館	0.247	1.050	1.216	0.838			
	学習支援デスクLC2階	0.257	0.800	0.716	0.591			
	能力開発センター8号館3階	1.042	1.122	0.966	1.043			
	事務窓口の対応	-0.240	0.250	0.649	0.220			
	奨学金制度	0.705	0.756	0.669	0.710			
	海外研修・留学制度	0.472	0.706	0.405	0.528			
	学内での講演会	0.792	0.883	0.682	0.786			
	ライブラリーセンター	1.538	1.489	1.439	1.489			
	施設・設備	マルチメディア考房 LC2階	0.885	1.178	0.892		0.985	0.651
ポピュラーミュージックコレクションLC3階		0.250	0.594	0.716	0.520			
夢考房 26号館、41号館		0.736	0.944	0.743	0.808			
穴水湾自然学苑		-0.403	-0.556	-0.419	-0.459			
教室		0.705	0.511	0.615	0.610			
自習室 7号館1階		0.701	0.817	1.007	0.842			
トイレ		0.931	0.883	0.905	0.906			
コンピュータ使用環境		1.177	0.978	0.953	1.036			
ネットワーク使用環境		1.191	0.883	0.818	0.964			
大学の公式ホームページの内容		0.420	0.572	0.534	0.509			
学内イントラネットの内容		0.642	0.611	0.568	0.607			
パソコンセンター 8号館3階		0.354	0.522	0.507	0.461			
実験・実習環境		0.830	0.522	0.480	0.611			
研究室、研究設備		0.799	—	—	0.799			
スポーツ施設		0.372	0.472	0.507	0.450			
えふえむエヌワン		-0.069	0.183	0.007	0.040			
食堂		0.604	0.494	0.750	0.616			
ブックストア		1.076	1.050	1.122	1.083			
サービスセンター		0.851	0.828	0.878	0.852			
購買		0.958	0.950	0.966	0.958			
診療所		0.615	0.628	0.480	0.574			
郵便局		1.094	1.144	1.128	1.122			
寮・下宿相談室		0.177	0.311	0.264	0.251			
キャンパスの快適性		0.469	0.333	0.392	0.398			
キャンパスの広さ		0.677	0.550	0.419	0.549			
キャンパス内の誘導表示		-0.174	-0.050	0.176	-0.016			
工大祭		0.104	0.200	0.297	0.200			
クラブ・サークル活動		0.017	0.228	0.149	0.131			
学外でのアルバイト		0.507	0.394	0.446	0.449			
学内でのアルバイト		0.257	0.406	0.338	0.333			
就職支援		進路アドバイザーとの進路相談	0.625	—	—	0.625	0.898	
		進路開発スタッフとの進路相談	0.573	—	—	0.573		
		就職講演会	0.764	—	—	0.764		
	就職模擬試験、アドバイス	1.007	—	—	1.007			
	合同会社説明会	1.035	—	—	1.035			
	就職活動支援無料バス	1.038	—	—	1.038			
	就職ノート	1.122	—	—	1.122			
	資料室、就職資料掲示、企業情報データベース	1.024	—	—	1.024			
	平均	0.527	0.615	0.604	0.582			

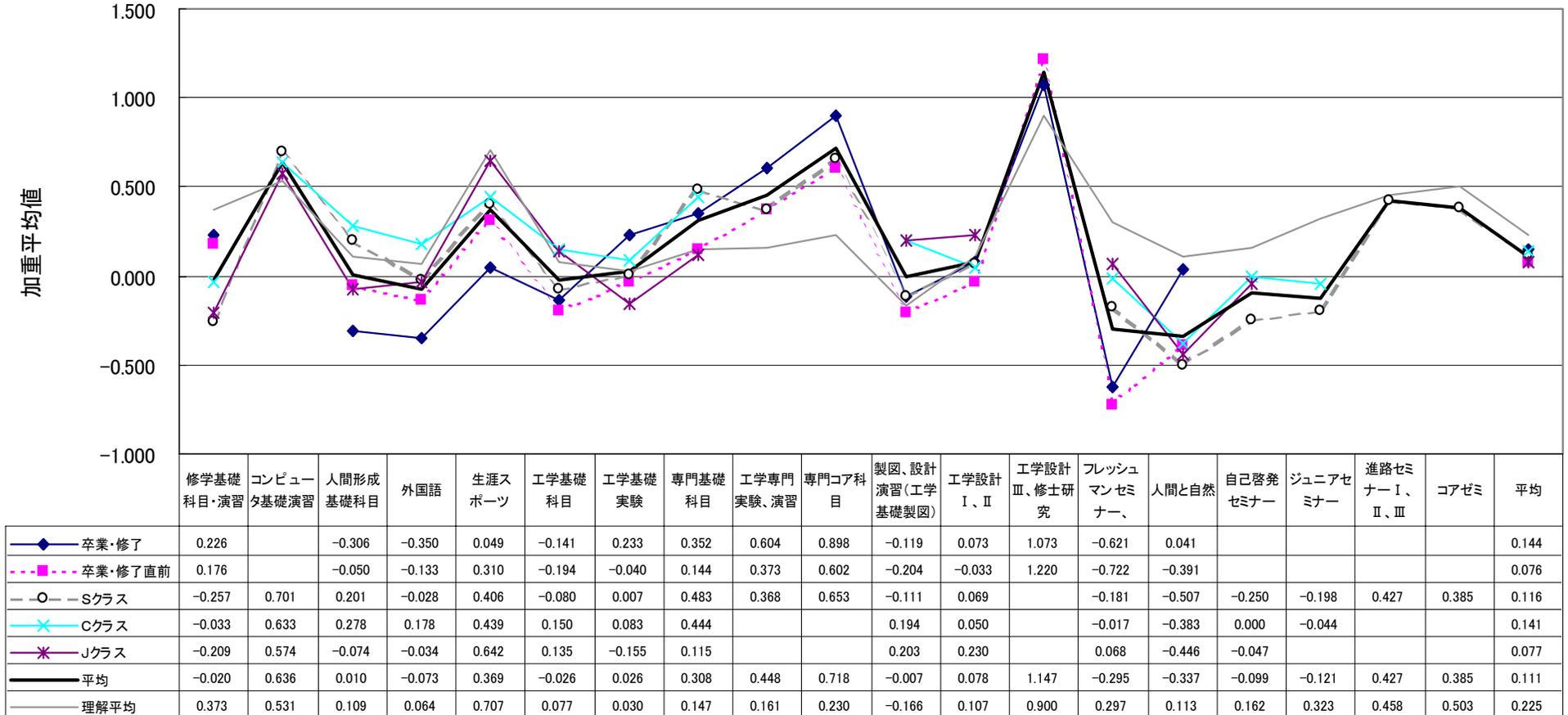
#### ■全体平均値による評価ランキング

順位	項目	全体平均
1	ライブラリーセンター	1.489
2	郵便局	1.122
3	就職ノート	1.122
4	ブックストア	1.083
5	能力開発センター8号館3階	1.043
6	就職活動支援無料バス	1.038
7	コンピュータ使用環境	1.036
8	合同会社説明会	1.035
9	資料室、就職資料掲示、企業情報データベース	1.024
10	就職模擬試験、アドバイス	1.007
11	マルチメディア考房 LC2階	0.985
12	ネットワーク使用環境	0.964
13	購買	0.958
14	コアガイドブックの内容	0.912
15	トイレ	0.906
16	キャンパスノートの内容	0.903
17	サービスセンター	0.852
18	自習室 7号館1階	0.842
19	工学基礎教育センター6号館	0.838
20	夢考房 26号館、41号館	0.808
21	研究室、研究設備	0.799
22	学内での講演会	0.786
23	就職講演会	0.764
24	オフィスアワー制度	0.751
25	奨学金制度	0.710
26	修学アドバイザー制度	0.632
27	進路アドバイザーとの進路相談	0.625
28	食堂	0.616
29	実験・実習環境	0.611
30	教室	0.610
31	学内イントラネットの内容	0.607
32	学習支援デスクLC2階	0.591
33	学習支援計画書(シラバス)の内容	0.584
34	診療所	0.574
35	進路開発スタッフとの進路相談	0.573
36	キャンパスの広さ	0.549
37	海外研修・留学制度	0.528
38	ポピュラーミュージックコレクションLC3階	0.520
39	大学の公式ホームページの内容	0.509
40	パソコンセンター 8号館3階	0.461
41	スポーツ施設	0.450
42	学外でのアルバイト	0.449
43	キャンパスの快適性	0.398
44	学内でのアルバイト	0.333
45	寮・下宿相談室	0.251
46	QPAポイント制度	0.239
47	事務窓口の対応	0.220
48	工大祭	0.200
49	クラブ・サークル活動	0.131
50	えふえむエヌワン	0.040
51	キャンパス内の誘導表示	-0.016
52	春、秋、冬学期の3学期制	-0.375
53	自己点検授業	-0.421
54	穴水湾自然学苑	-0.459

## < 4 > 興味が持てる授業

授業の中で興味を持たれているのは「専門的で実習を伴った授業」であり、興味が持たれないのは各種のセミナーであった。また、大学に慣れ始めた層は授業への興味が薄れてきており、卒業・修了直前の層は終わったこととして興味は低かった。

■興味が持てる授業の卒業生、卒業直前、在学生比較(加重平均)

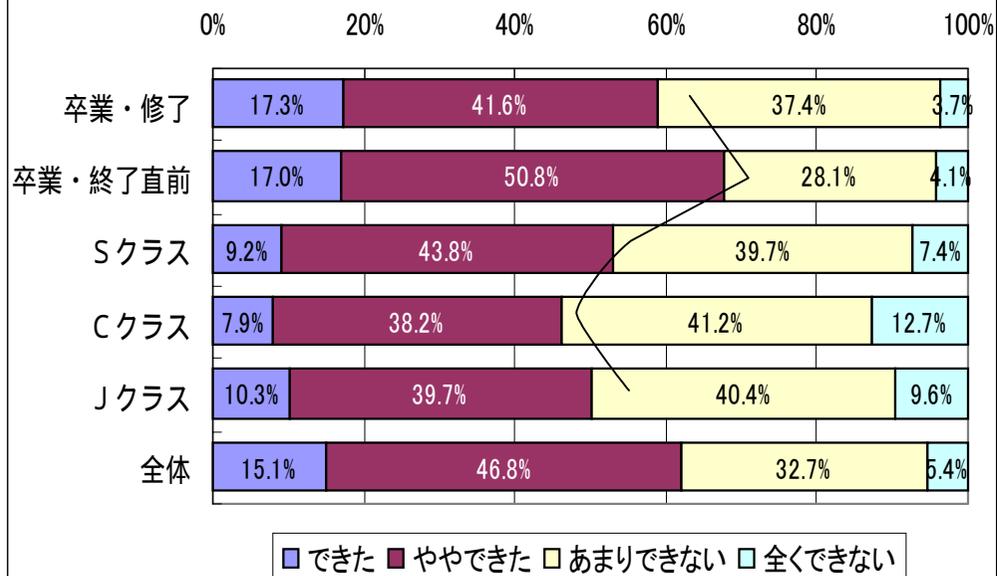


興味が持てる授業が多かった(+2)～興味が持てる授業が少なかった(-2)、わからない(0)として加重平均を集計した。

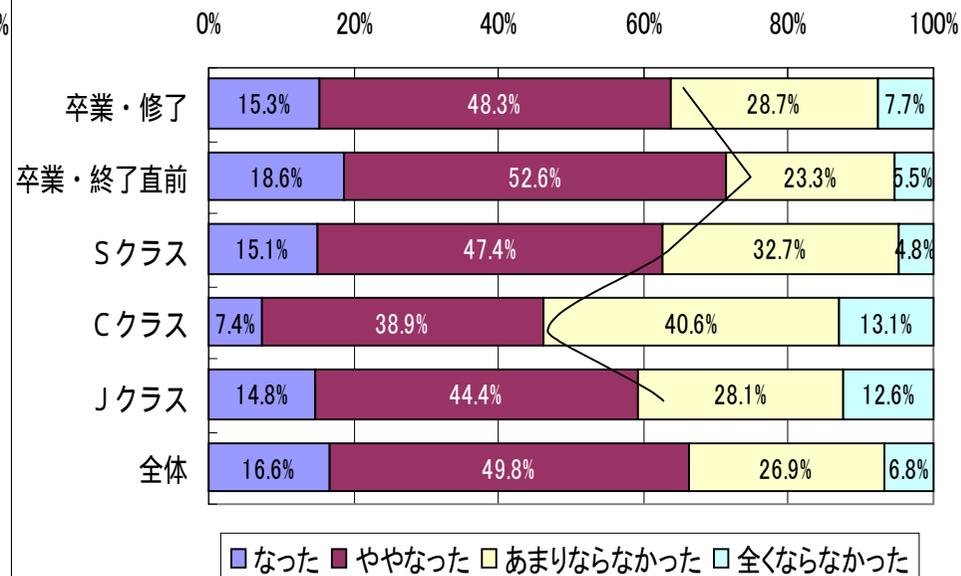
## < 5 > 目的を持って過ごすことができたか、将来像が具体的に変わったか

- 「KITで目的を持って過ごすことができたか？（過ごしているか？）」という質問に対しては、全体の15.1%が「できた」と回答しており、46.8%の「ややできた」を加えて、61.9%が何らかの形で目的を持って過ごせた（過ごしている）ということになる。
- 学年別に見ると、「卒業修了直前者」が最も目的を持って過ごせたと回答しており、次いで、「卒業・修了生」「Sクラス」「Jクラス」「Cクラス」の順であった。「Jクラス」まではまだ目的があるが、「Cクラス」で最も目的が不明確になり、専門性の高くなる「Sクラス」「卒業修了直前」にかけて再び目的が見えてきている。しかし、卒業後に学生時代にもっと目的を持って過ごすべきだったと後悔しているといった姿が考えられる。
- 「KITで過ごして将来像が具体的に変わったか？」という質問の傾向も、前問と似たようなものであったが、全体を見ると16.6%が「将来像が具体的に変わった」と回答しており、49.8%の「やや変わった」と合わせると、66.4%が何らかの形で将来像が具体的に変わっているようであった。

### KITで目的を持って過ごすことができたか？



### KITで過ごして将来像が具体的に変わったか？

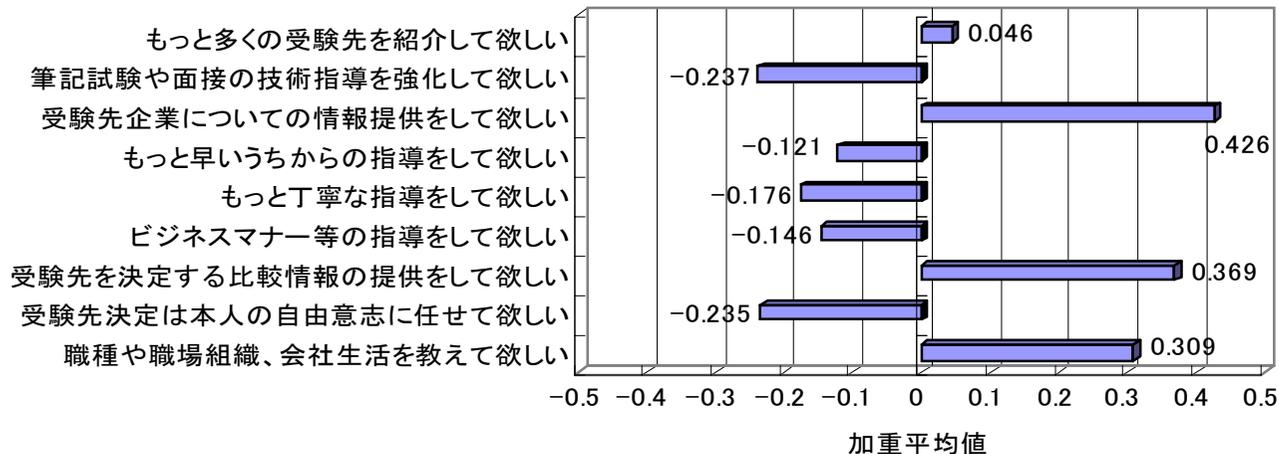


## < 6 > 就職指導に関して（卒業・修了生の回答）

就職指導に関しては、対応には大きな不満はないが、「受験先企業についてのより詳しい情報」「数社を比較できる情報」など、より詳細な情報が求められている。

- 加重平均を見ると、最も要望が高かったのは「もっと受験先企業についての情報が欲しかった」というものであり、次いで「受験先を決定するための比較情報が欲しかった」、「職種や職場組織など、会社生活について教えて欲しかった」「もっと多くの受験先を紹介して欲しかった」というものであった。
- 上記の4項目以外に関する加重平均結果はマイナスであり、「そう思う」という意見より「そう思わない」という意見が多かったということになる。ただし、無視して良いわけではなく、各項目に関して一定数の希望が寄せられていることを考慮する必要がある。
- 平成8年のニーズよりも強くなったものは「筆記試験や面接の技術指導をして欲しい」「ビジネスマナー等の指導をして欲しい」というものであり、受験のテクニックに関するニーズは少し強まっているようであった。
- この評価に付随して自由記述による要望を聞いたが、そこには「より正確で最新の企業情報を提供して欲しい」「就職活動開始の早期化で、授業との兼ね合いが難しい」といった項目が見られた。

### 就職指導に対して感じていた希望（加重平均）

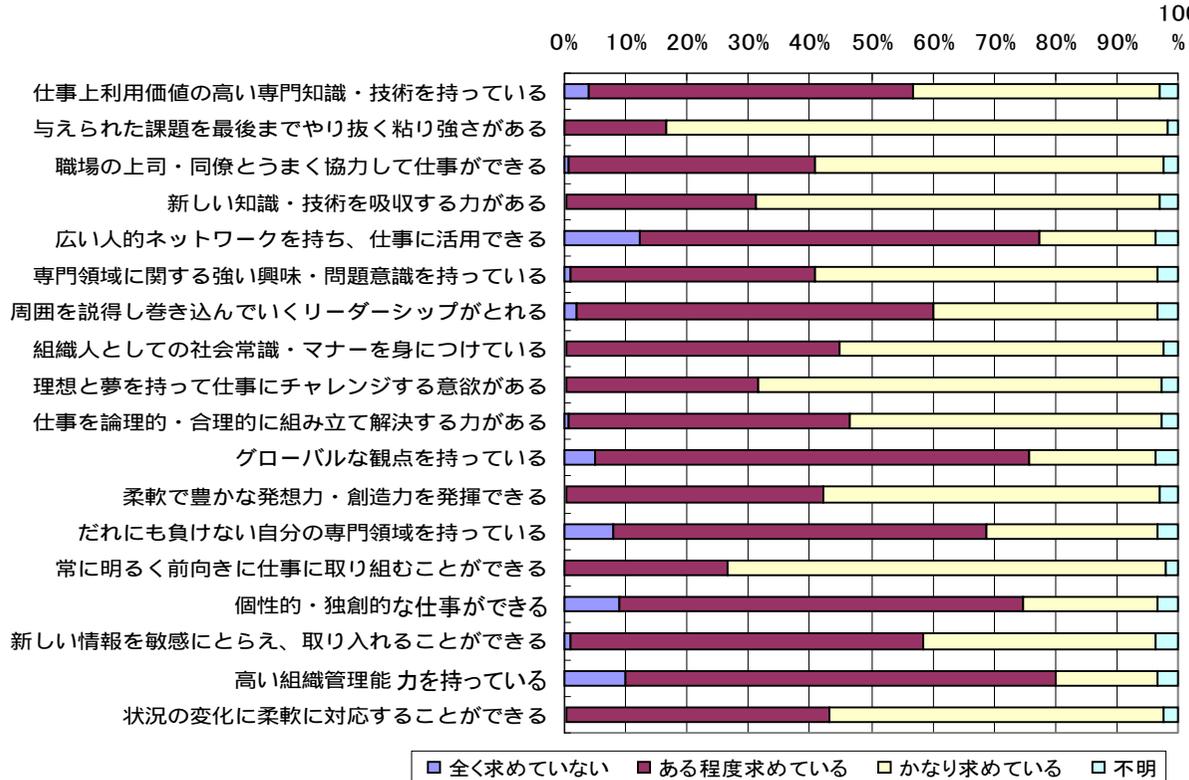


わかりやすくするために  
そう思う（+2）  
ややそう思う（+1）  
あまりそう思わない（-1）  
そう思わない（-2）  
として加重平均を集計した。

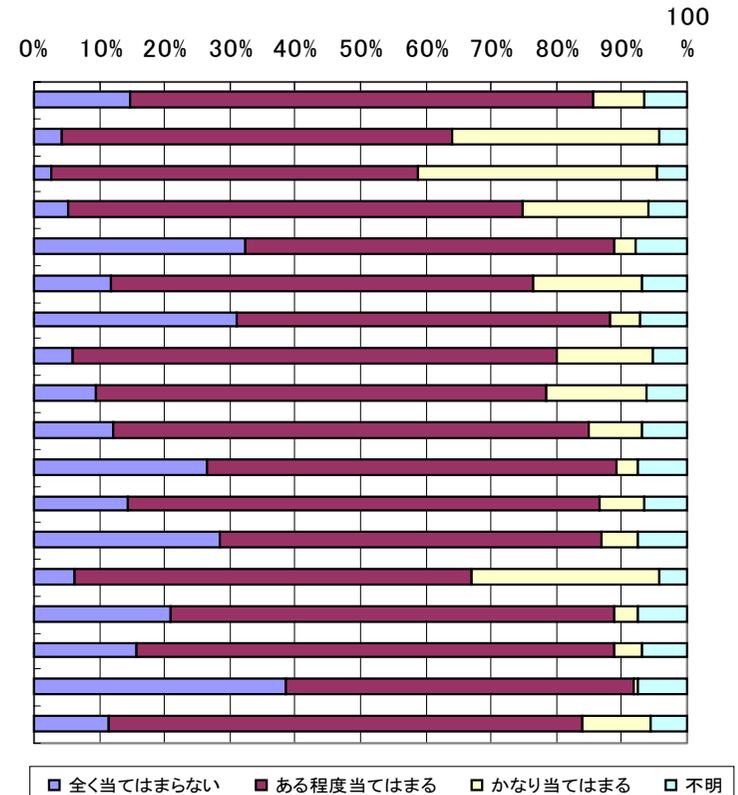
## < 7 > 会社が求める人材像（企業採用担当者の回答）

- 一般社員の人材像に関して、「与えられた課題を最後までやり抜く粘り強さがある」「常に明るく前向きに仕事に取り組むことができる」「新しい知識・技術を吸収する力がある」「理想と夢を持って仕事にチャレンジする意欲がある」といった項目が重視されていた。
- KIT卒業生の評価として、高かったのは「職場の上司・同僚とうまく協力して仕事ができる」「与えられた課題を最後までやり抜く粘り強さがある」「常に明るく前向きに仕事に取り組むことができる」といった項目であった。
- また、評価が低かったのは「高い組織管理能力を持っている」「広い人的ネットワークを持ち、仕事に活用できる」「周囲を説得し巻き込んでいくリーダーシップがとれる」といった項目であった。

### 一般社員に求める人材像



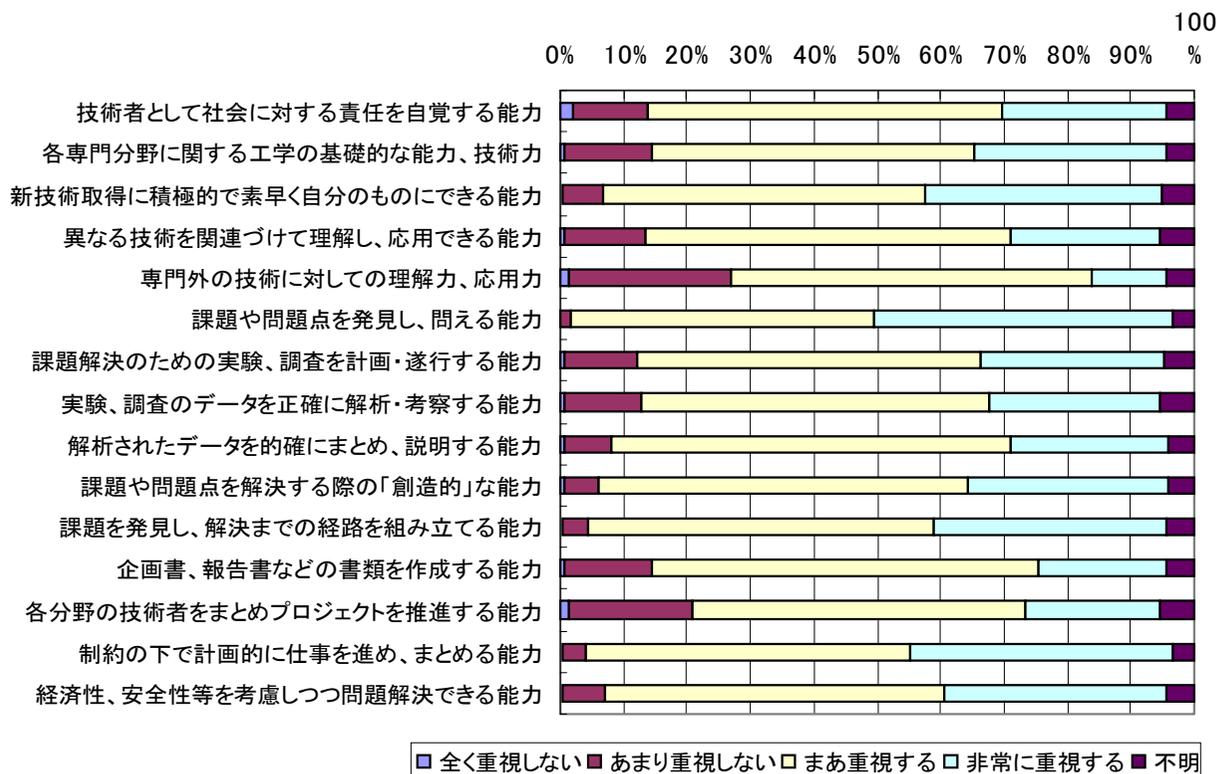
### KIT卒業生の評価



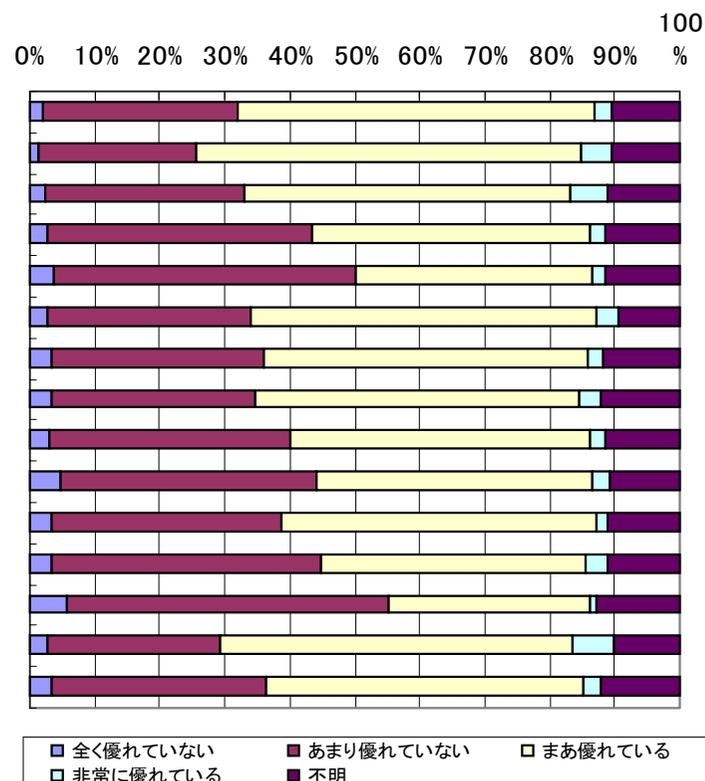
## < 8 > 技術者に求める能力（企業採用担当者の回答）

- 技術者として最も求められる能力は「課題や問題点を発見し、問える能力」であり、その他「制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力」「課題を発見し、解決までの経路を組み立てる能力」「新技術取得に積極的で素早く自分のものにできる能力」といった項目であった。
- KIT卒業生の評価に関しては、「各専門分野に関する工学の基礎的な能力、技術力」「制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力」などは優れていると評価されていた。
- そして、「各分野の技術者をまとめプロジェクトを推進する能力」「専門外の技術に対する理解力、応用力」「企画書、報告書などの書類を作成する能力」「課題や問題点を解決する際の「創造的」な能力」「異なる技術を関連づけて理解し、応用できる能力」に関しては評価が低いことが確認できる。

### 一般技術者に求める能力



### KIT卒業生の評価

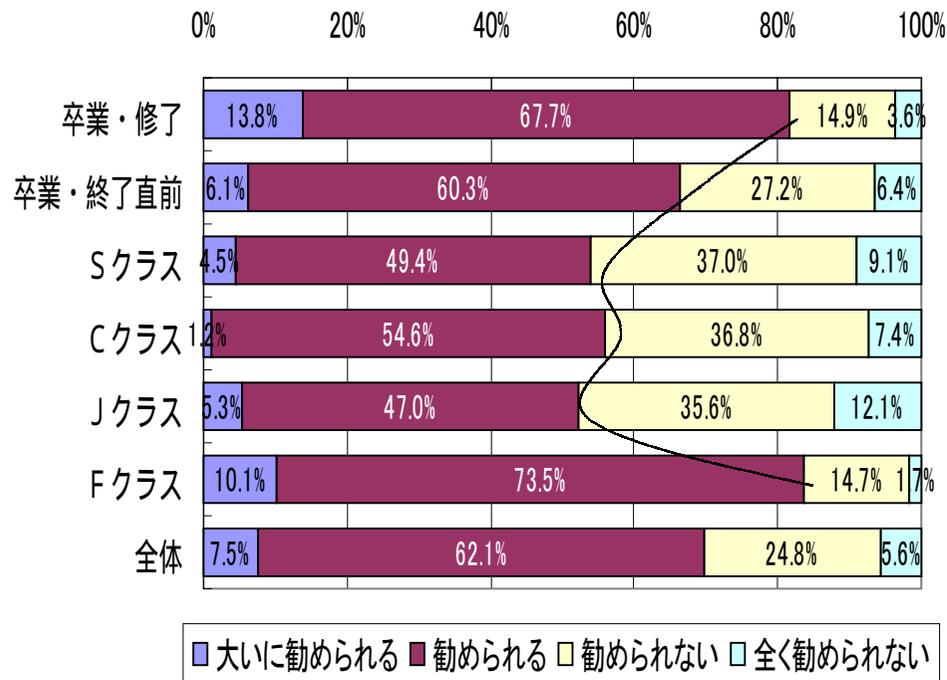


## < 9 > K I Tの総合評価

在学生の75%がK I Tに満足していると回答しており、70%は後輩にも勧めたいと考えていることが分かった。しかし、残りの25%は満足しておらず、これらの層の不満を抽出し、改善していく必要がある。

学年別に見た場合、Jクラス・Cクラスの満足度が低いことから、これらの「大学に慣れてきた層」の満足度をどのように引き上げるかという、ターゲットを絞った学習支援策が必要と思われる。前項の結果と合わせて、Jクラス・Cクラスの意識を把握し、良い方向に向けるプログラムの開発が必要となる。

### 後輩にK I Tを勧められるか？



### K I Tの総合評価

